

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

こんにちは、らくだです。

まだ寒い日が続きますが、早くも3月になりました。
月末締切りの新人賞へ投稿された皆様はお疲れ様でした。

さてさて。

まずは月初め恒例の、パブー版の紹介です。

【らくだ図書館（50）】

<http://p.booklog.jp/book/105115>

記念すべき50冊目！

内容はブログのコピーですが、よろしければご確認ください。

それから昨日も告知しましたが、カクヨムにて、小説作品の連載を開始しました。

【激烈ワナビ戦】

<https://kakuyomu.jp/works/4852201425154962046>

更新する度にここへ書いていると、毎日宣言ばかりのブログになってしまうので、それは控えようと思います。

その代わりブログの柱に、ツイッターを設置しました。

表示されるのはパソコン用サイトのみですが、「ワナビ戦の更新情報を早く知りたい！」という方は（まずいないと思いますが）、メニュー下の眩きをご覧くださいと幸いです。

というわけで。

色々と忙しくなりそうな3月ですが、今月も頑張っていきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

話題にするのが遅れましたが、G Aの2次発表がありました。

通過された皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

<http://ga.sbcr.jp/novel/taisyo/08/index02.html>

| | |
|------|----------------|
| 応募総数 | 840 作品 |
| 1次通過 | 235 作品 (約 28%) |
| 2次通過 | 28 作品 (約 3%) |

G Aさんは2次で絞る印象がありますね。
ここから3次選考、4次選考がどうなるのか楽しみです。

ちなみに自分は、ネット小説を始めたことにより、公募のいい部分・面白い部分を改めて実感しました。

ドキドキしながら発表を待ったり、出版社から評価シートが届いたり。
そんな公募ならではの経験は、今まで当然だったけど、楽しい時間だったんだなと。

もちろんネット小説の方がやりやすい部分もありますが、両方を経験したことで、今まで気付かなかった新しい魅力が発見できた感じです。

というわけで。
ネットの方はまだ初心者ですが、今後も色々吸収して、たくさん成長したいと思います。

以上、発表の話題から逸れましたが、自分自身を成長させる為にも、まずは毎日の連載更新を頑張りたいです。

こんにちは、らくだです。

集英社ラノベの評価シートが発送されました。
公式ブログにもその件についてお知らせが載っています。

【公式ブログ】

<http://sdbunko.blogspot.jp/2016/03/blog-post.html>

というわけで、自分もゲット！

しかしSDさん……。

選評に年齢を書くのはやめてくれませんかね……。

それはさておき、1次落ちにも関わらずコメントが非常に長く、具体的ないい部分・悪い部分がびっしりと書いてありました。

ダッシュエックスにリニューアルしてから、二枚目以降のアドバイスはなくなった模様ですが、選評の形式は個人的にとっても好きです。

いい部分の指摘は励みになったし、悪い部分の指摘は今後の参考にして、さらに精進していきたいと思います。

ちなみに今回届いたのは1次の選評ですが、上記の公式ブログによると、2次の選評も今月下旬に発送予定だとか。

自分は1次落ちなのでもう終わりですが、今後も更新をチェックして、その都度情報を発信していきたいです。

以上、集英社ラノベの評価シートの話でした。

カクヨムを始めた感想 - 2016.03.04 Fri

こんにちは、らくだです。

アイスクリスタルは残念ながら落選でしたが、ガッカリしても抽選結果は変わらないので、次回募集時にまたエントリーしようと思います。

さてさて。

明日・明後日は、カクヨムのオープン後、初の週末です。

この隙に続きを書きためようと思いますが、やっぱりネット小説は勝手が違うので、慣れずに戸惑ってしまう部分も多いですね。

特に新鮮だと思うのは、序盤しか載せていない段階で、周囲から評価がつく点。

公募だと一作全体で評価されるのが前提なので、

「★なんか付けちゃっていいの？」

「ここから大失速するかもしれないよ？」

「後で返せって言われても返さないからね？」

みたいな感じ。

もちろん嬉しさの方が大きいですが。

ただ逆の考え方をすると、「全体を通しての評価ではない＝つまらなかつたらその時点で切られる」とも言えるので、その辺がシビアですよ。

とにかくネット小説にも従来の公募にも、どちらにも違う魅力があると思うので、戸惑う部分にも慣れていきたいです。

以上、カクヨムを始めた感想でした。

まだまだ規定の10万字には遠いので、途中で挫折しないように頑張ります。

カクヨムブログが更新されました。
今回の記事は今後の見通しに関するお知らせです。

【今後のカクヨムの予定】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2016/03/04/211023>

要点を手短にまとめると、

<検索の精度向上>

タイトルとキャッチコピーに加え、作者名で検索できる機能を追加
今後も範囲を広げていく予定

<近況ノートにコメント機能を実装予定>

現状は一方通行だったので、これはありがたい変更です！

<ランキングの基準となるデータについて>

フォロー数は加味されない
PV数を単純にカウントするわけでもない

<不正な評価の排除>

作品を読まずにつけられた★は評価の対象から外す
そういった行動が目立つ場合は、アカウントの削除や停止もあり

というわけで不正対策を実施する模様。
真面目に更新している作者にとっては朗報と言える内容です。

好評価がついたら確かにとても嬉しいので、不正したくなる気持ちも理解できなくはないですが、それで人気作品になっても結局は自分自身が虚しいだけですからね。

自力で★を増やせるように、今後も頑張ろうと思います。

こんにちは、らくだです。

ブログのテンプレをいじって、スマホ版の下の方にも、ワナビ戦のリンクを置きました。

広告が多くて見辛いと思いますが、スマホ版の広告はどうしても消せない仕様なので、悪しからずご了承くださいませ。

さてさて。

今月に入ってからカクヨムのノルマを書くのが精一杯で、私生活の他の作業が何一つまったくできておりません。

溜まっていく本……。

溜まっていくゲーム……。

溜まっていくテレビの録画……。

毎日一定の量を書いてアップするのって、わかっていたつもりではありますが、改めて大変な作業だと痛感しました。

ただ逆に言うと、ノルマがあるからこそ頑張れる、という一面も。

もしこれが公募用の創作だったら、こんな勢いでは書けていないと思うので、あえて公開して自分を追い込むのもアリかなあ……なんて思ったり。

それにやっぱり、書いた部分をすぐ見てもらえるのは、楽しいですね。

とにかく何度も繰り返し主張している通り、公募にもネット小説にもそれぞれ魅力があると思うので、今後は状況を見つつ両方に参加していこうかなと思います。

以上、近況に関するひとりごとでした。

大阪城公園の梅林（再） - 2016.03.07 Mon

こんにちは、らくだです。

先週は大阪城公園へ行きましたが、梅の花は残念ながら開花前だったので、今週も様子を見に行ってきました。

まずは入口。

入口は二か所ありますが、こちらは北側の様子です。



ドキドキ……。

今週も咲いてなかったらどうしよう……。

と思いつつ行ってみると、現在はこんな感じでした。



やったね！

まさしく見頃だよ！

梅の花は種類によって開花時期が色々ですが、八割くらいが咲いており、全体的には今がピークかなという印象でした。



満開の花々。

今月は梅が楽しめて、来月には桜や桃が楽しめるなんて、思えば贅沢な話です。

特に大阪城公園の梅林や桃園は、管理が非常にしっかりしていて、プレートもついています。



花そのものは当然ながら、種類を確認しつつ歩くのも、結構楽しい作業でした。

自分は詳しくありませんが、それぞれの種類名には、きっと由来があるのでしょう。

なんて思いつつ歩いていると……。



カナリヤ発見！

最初は野生かと思ってビックリしましたが、どうやらペットのカナリヤで、飼い主が梅の木で遊ばせている最中でした。



花と鳥って絵になりますよね。

飼い主はすぐに去って行きましたが、なんだか風流な気分になりました。

下の写真は全体像。

さすが 1,000 本超だけあり、非常に広大な敷地です。



最後に南側の入口の写真を。

残念ながらこの樹の見頃は終わっていますが、種類が豊富で長い間楽しめるのも、大阪城の梅林のいいところかなと思います。



以上、大阪城公園の梅林でした。

執筆スケジュールが厳しくても、週末は外出した方が、気分転換できていいですね。
来月になったら今度は桜を見に出掛けようと思います。

こんにちは、らくだです。

ブログを読んで驚きましたが、カクヨムコンテストの読者選考期間が、一週間ほど延長される模様です。

【本日のランキング実装に当たって&読者選考期間延長のお知らせ】

個人的には3月中に完成する段取りだったので、正直ちょっと拍子抜けですが、スケジュールに余裕ができたことは嬉しいです。

あと、それから。

ブログに具体的な記載が載っていますが、さらに厳正な不正対策が取られる模様。

オープンから一週間で過ぎましたが、「相手を応援する気がないのに自作の宣伝目的で無差別にフォロ爆する人」が目立っていたので、今回の対応には個人的に賛成です。

そういうのって、フォローの本来の使い方じゃないですもんね。

ブログを読んだ感じ他にも色々と問題があるみたいですが、これから少しずつそういう部分が改善されて、作者も読者も気持ちよく過ごせる場所になって欲しいです。

それからもう一つ、ランキングの話題。

今日はランキング実装初日でしたが、拙作『激烈ワナビ戦』は、ラブコメ部門で205位に入りました。

全部で何作あるのか不明ですが、とても嬉しく励みになりました。

これからさらに順位を上げたいところですが、まずは毎日の執筆へ誠実に取り組むことを最優先とし、地に足をつけて活動していきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

今回はえんため大賞の話題です。

小説と直接の関係はありませんが、同じえんため大賞なのでご紹介。

以下の2部門の募集が、8日から始まりました。

それぞれ応募要項ページへのリンクを貼っておきます。

【自作ゲーム部門】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/gamebuild.html>

【ゲーム実況部門】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/gamelive.html>

ゲーム実況部門は前回に引き続き開催。

そして自作ゲーム部門は、今回初の新しい部門です。

ちなみに要項をよく読んだところ、「優秀なオリジナル作品には、小説化、コミック化の可能性もあります」という、小さく書かれた注意書きを発見。

自分は小説を書く人間（これでも一応）なので、「小説がヒットしてゲーム化」という発想をしがちですが、世間的にはもちろん逆の順序もあり得るわけで、そういう可能性を秘めた新部門だと思います。

えんため大賞はさすがファミ通だけあって、ゲームとのコラボや連動企画が多いので、そういう面が自分にとっては魅力的だなと。

というわけで今回のブログは、えんため新部門の話題でした。

まだ募集が始まったばかりですが、盛り上がって欲しいなと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨムブログがまた更新されました。
内容は不正なスター評価に対する警告です。

【[「読んだ実態のない作品に異常な数の評価をつける」という迷惑行為について](#)】

これってつまり、自作品への評価バックを期待して、未読の作品に高評価をつけまくるユーザーへの注意ですよ。

自分もそういうケースに遭遇しました。
アカウントごと消えて、同時に★も減りましたが、正直ビックリしました。

なんかもう本当に……。
評価が欲しい気持ちはわかるけど、きちんと作品本体で勝負しようよ……。

仮にこのままの状況が続いてしまうと、真面目に更新している人が立ち去って、無法者だけがその場所に残るといって、北斗の拳の廃墟みたいな状態になりそうですよね。

思わずそう思ってしまうんですが、自分はカクヨムにすごく期待していたし、状況が改善されると信じているので、連載中の作品を完結できるように引き続き頑張ります。

あとそれから、眩きのファボやリツイート、いつも本当にありがとうございます！

個別にお礼を言いたいところですが、毎日それをすると逆にウザいかもしれないので、心の中でひっそり感謝しております。

というわけで、なんだか愚痴っぽい内容になりましたが、今後も活動していくのでよろしくお願い致します。

こんにちは、らくだです。

富士見ファンタジア大賞が、短編の募集を開始しました。

詳しくは公式サイト of 募集要項をご確認ください。

【短編・応募要項】

<http://www.fantasiataisho.com/guideline/short.php>

規定枚数は 40 字× 16 行で 30~60 枚。

電撃の短編部門とだいたい同じ量ですね。

ただしファンタジアさんは、長編・短編どちらも送れる電撃大賞とは違い、あくまで分けての募集です。

締切りも年 1 回で、来年の 2 月末日。

年 2 回の長編と間違えないよう、十分に注意したいところです。

それから、もう一つ。

キャッチコピー大賞なる新企画が登場しました。

【キャッチコピー大賞・応募要項】

<http://www.fantasiataisho.com/guideline/catch.php>

どうやら既存作のキャッチコピーを募集するようですね。

見た感じ賞金や賞品はなさそうですし、採用されても作家デビューには繋がらないようですが、ファンタジア大賞の一つとしてご紹介。

というわけで今回のブログは、ファンタジア大賞の話題でした。

第 10 回魔法の i らんど大賞 - 2016.03.12 Sat

こんにちは、らくだです。

そろそろ花粉症の季節ですね。

自分は鼻水がヒドイですが、空気清浄機もあまり効かず、ひたすら我慢の毎日です。

さてさて。

今回は久し振りに魔法の i らんど大賞の話題を。

3月頭から春のエントリー期間が始まりました。

詳しくは公式サイトで開催概要をご確認ください。

【応募要項】

<http://award.maho.jp/outline/>

- ・ 募集内容 オリジナルの長編及び短編小説
- ・ ジャンル ファンタジー、SF、ミステリー、恋愛、歴史、ホラーほか
- ・ エントリー期間 2016年3月1日～4月27日
- ・ 予選通過作品発表 2016年6月30日

前回の応募総数は、1,902本だったようなので、かなりの規模です。

前にもちょっと触れましたが、魔法の i らんど大賞出身の作家さんが、MW 文庫から作品を出版したケースも存在するので、女性向けの作品を書かれている皆様はチェックしてみてもはいかがでしょうか。

あと、今まで知りませんでした、予選を通過すると選評がもらえるんですね。

自分はカクヨムで手一杯の状態ですが、夏にもまた開催されるようなので、情報チェックを続けようと思います。

カクヨムランキングの話題に触れない理由？
そんなの自作が圏外だからに決まってるじゃない！

と思っていたら、感想を書いてくれた方がいらっしやり、押し寄せる感動にむせび泣いている常木らくだです。

しかも、お二人も……。
ありがたや、ありがたや……。

おかげさまでモチベーションが上がりました。
一人でこっそり読み返しては、何度もニヤニヤしております。

というわけで。
3月中旬になったので、また改めて宣伝など。

【激烈ワナビ戦】

<https://kakuyomu.jp/works/4852201425154962046>

ここ数日アップしているシーンは、「初めての投稿」という章タイトルで、主人公が小説投稿に挑戦します。

やはり投稿のドタバタは書きやすい！
普段の自分をそのまま書けばいいだけだから！

ってなわけで、メインは脱力系のバトルですが、小説投稿の話も中盤で出てくるので、是非ともチェックしていただけると嬉しいです。

ストーリーの進捗的には、とりあえず現在で半分。
まだ10万字には到達できていませんが、完結できるように頑張ろうと思います。

こんにちは、らくだです。

今回はフィギュアスケートの話題です。

スケートファンクラブのアイスクリスタルが、いつの間にか、メールマガジンの配信を開始した模様です。

以下、告知ページへのリンク。

【メールマガジン配信開始のお知らせ】

主な特典は3つで、

- (1) チケット販売情報の配信
- (2) 新規会員へのエントリー権ゲット
- (3) オリジナルグッズを抽選でプレゼント

メルマガ登録は本会員でなくても大丈夫。

自分はアイクリ難民ですが、問題なく登録できました。

ちなみに告知ページの説明をよく見たところ、今後はメルマガ会員でないと、本会員にエントリーできないみたいです。

そんな条件をつけるなんて……。

毎回よっぽど倍率高いんでしょうね……。

まあとにかく、メールアドレスがあれば簡単に登録できるので、スケートファンの皆様はチェックされてみてはいかがでしょうか。

というわけで。

今回はアイクリのメールマガジンの話題でした。

iPhone のバージョンは 3G ですが何か？

というわけで（泣）

アプリをダウンロードしましたが、機種が古すぎて非対応でした。

ううん！

iPhone がダメなら iPad を使えばいいじゃない！



ってなわけで iPad からのスクショ。

ひとまず操作に慣れるために、自分の作品をサラッと読んでみましたが、こういう特長がありました。

- ・背景色を白・黒・生成りから選べる
(生成りは目が疲れなくていい感じ)
- ・フォントを明朝体、ゴシック体から選べる
(両方試してみたけど、ここは明朝体の勝利)
- ・文字の大きさを大、中、小の三段階から選択可能
(だけどそんなに変わらないので、もっと差が大きくてもいいかも)

こちらは今のところ読む専門のアプリなので、書き手にとってはパソコン操作必須ですが、外でちょっと確認する分には便利ですよ。

機能はこれからどんどん追加されていくようなので、今後さらに使いやすいアプリになって欲しいです。

こんにちは、らくだです。

今回はフィギュアスケートの話題です。

フジテレビの公式ホームページ内に、世界選手権の特設サイトが出来ました。

今年の開催時期は少し遅め。

今月末から来月頭にかけての実施です。

【特設サイト】

<http://www.fujitv.co.jp/sports/skate/world/index.html>

| | | |
|----------|-------------|---------|
| 3月31日(木) | 19:00~21:30 | 男子ショート |
| 4月1日(金) | 19:00~21:30 | 女子ショート |
| 4月1日(金) | 25:10~26:10 | フリーダンス |
| 4月2日(土) | 19:00~21:30 | 男子フリー |
| 4月3日(日) | 19:00~21:54 | 女子フリー |
| 4月3日(日) | 25:30~26:30 | ペアフリー |
| 4月4日(月) | 19:00~20:54 | エキシビション |

深夜の時間帯ではありますが、アイスダンス、ペアがあるのは嬉しいですね。

しかし、その時期は……。

フィギュアスケートだけでなく、投稿的にもクライマックス……。

というわけでスケジュール的には厳しいですが、先月の四大陸も見たら創作意欲が湧いたので、ワールドも楽しみに観戦したいと思います。

特に男子は、三枠の奪還が懸かった試合ですからね。

出場メンバーを考えると、余裕で取れそうにも思えますが、しっかり応援したいです。

カクヨムで小説の連載を始めて、あっという間に半月が過ぎました。

というわけで今回のブログでは、「アップする際に注意している点」について、勝手に語ってみようと思います。

【更新時間】

毎日 21 時～22 時の間。

今後どうなるか不明ですが、今のところは（強調）、どうにか守れています。

【平均字数】

回によって割と上下しますが、だいたい 1 話あたり、3,000 字前後で書いてます。

らくだ図書館は 600 字くらいなので、1 話あたり、ここの記事 5 個分ほどの文字数です。

【シーンのボリュームを揃える】

公募用に使っている時は、「短いシーンは 1 枚で長いシーンは 10 枚」とか普通ですが、それだと毎日のボリュームがバラバラになってしまうので……。

気にする必要はないかもしれませんが、一応なんとなく心掛けています。

【どの回もある程度、起承転結をつける】

これが一番気を付けていて、それから同時に難しい部分。

ネット小説の場合、最後まで読んでもらえる保証は少しもなく、つまらなかった場合その回で切られちゃいますからね（涙）

しかもそれが、アクセス数でわかってしまうという、恐ろしい世界……。

そんなわけで頑張っているのですが、ストーリー的に派手な事件を起こせない回もあるので、本当に難しいと痛感している最中です。

ひとまず以上。

まだまだ他にもたくさんあるので、ネット小説ならではの驚きや発見について、また詳しく書きたいと思います。

こんにちは、らくだです。

雑誌コバルト廃刊&ウェブ化という情報が、1月末に出ておりましたが、より詳しい続報が本日公開されました。

告知ページはこちらです↓↓↓

【集英社 Web マガジン Cobalt】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/teaser/>

- ・ オープンは4月1日
- ・ 毎週金曜日の夕方更新
- ・ プロ作家の連載が無料で読める

ちなみに投稿情報ですが、今のところ、以下の3つみたいです。

- ・ 短編小説新人賞
- ・ コバルト・イラスト大賞
- ・ 投稿新企画第一弾

(桑原水菜先生のお題でショートストーリーを書いてみよう！)

短編小説の募集は今まで通り。

それとショートストーリーの新企画があるみたいですね。

ちなみに自分は、長編小説の賞が新設されるのを期待したんですが、そういう情報は今のところ残念ながら見つからず……。

とはいえ、今後長編を募集する可能性もゼロではないと思うので、引き続き最新情報をチェックしていきたいと思います。

第2回 お仕事小説コン - 2016.03.19 Sat

こんにちは、らくだです。

小説家になろう×マイナビのコンテスト、「お仕事小説コン」ですが、このたび第2回が開催される模様です。

要点を簡単にまとめましたが、詳細については、公式サイトをご確認ください。

【告知ページ】

<https://book.mynavi.jp/fanbunko/contest/detail/id=51737>

- ・ストーリーの中に何らかのお仕事ネタが出てくる小説
- ・グランプリ&優秀賞の受賞作はファン文庫にて出版確約
- ・文字数は自由（ただし書籍化を想定し、10万字以上&完結推奨）
- ・作品をなろうにアップし「第2回お仕事小説コン」のキーワード設定で投稿完了
- ・締切りは2016年6月30日

ちなみに、第1回の応募総数は603本。

書籍化の確約がなかった状態でこの数ですから、要項に「紙出版確約」の文字が入った今回は、応募数がさらに倍増しそうな予感がします。

それから、受賞作が刊行されるファン文庫。

こちらは3月20日（日）創刊で、マイナビのサイト内に、専用ページが出来ております。

【ファン文庫】

<https://book.mynavi.jp/fanbunko/>

というわけで、なろうでお仕事小説を書かれている方は、是非チェックしてみتهいかがでしょうか。

話題にするのが遅れましたが、小説家になろうのジャンル再編成について、3月15日に続報が出ています。

【ジャンルについて】

<http://syosetu.com/teaser/genre/>

まずコチラに、ジャンルの詳細が書いてあります。

大ジャンルと小ジャンルが設定されて、選択可能なジャンルが19個になります。
これだけ細分化されていると、作者側としても、選択しやすくいいですね。

【キーワードについて】

<http://syosetu.com/teaser/genre2/>

コチラのページには、キーワードの詳細が載っています。

運営側が用意した公式キーワードや、タグ選びに迷った際に参照できる、おすすめキーワードなどの情報が。

タグやキーワードの設定は重要ですが、書いた本人は結構迷うものなので、公式で用意してあるのは嬉しいですね。

【FAQ】

<http://syosetu.com/teaser/genrehelp/>

コチラはFAQ。

何をもって「異世界」と定義するのか、非常に詳しく説明してあります。

というわけで、ジャンルの再編成は作者全員に影響が及ぶ問題なので、なろうに作品を掲載されている皆様は是非チェックしてみてくださいはいかがでしょうか。

刀剣乱舞ラッピングカー - 2016.03.21 Mon

今回は完全に趣味の話です。

先週末に開催が終了した、刀剣乱舞スタンプラリー。

自分は1月に参加しましたが、イベント期間中は、ラッピングカーが登場しました。



この刀剣乱舞仕様のラッピングカーを、鉄道ファンの知人が作ってくれました。

というわけで。

せっくなので制作過程をご紹介します。



<用意した物・その一>

・資料用の写真

キャラ絵は用意できましたが、ロゴ回りに散っている桜や背景の紋は、手作業で作ってもらいました。



<用意した物・その二>

- ・ 嵐電の模型

自分はまったく知りませんが、京福電鉄のこの模型はレア物(?)らしく、入手するのが難しいそうです。



<用意した物・その三>

- ・ 転写シール

これでデカールシールを作製します。

数週間の作業を経て、ラッピングを隅々まで再現し、印刷した物がコチラ。



とにかく小さい！

画像は拡大してありますが、シールの縦幅は、1 c mもないくらいです。

ちなみにシールなので、左右は反転させて印刷。

基本中の基本事項ですが、自分が作業者だったら、素で間違えたと思います。



続いての作業。

サイズの確認用に仮の貼り付け。

等々の様々な調整を経て、刀剣乱舞ラッピングカー、無事に完成へ至りました。



小さすぎて見えませんが、ヘッドマークも自作です。

鉄道模型界限について、自分はまったく知りませんが、職人芸の世界ですね。

下は反対側の写真。

裏側はキャラが違うので、作業量も二倍という罫。



というわけで、制作者のK様、ありがとうございました！
今度お礼に火鍋をおごります！（自分が食べたいだけ）

以上、手作り刀剣乱舞ラッピングカーの話でした。

こんにちは、らくだです。

カクヨムの機能が続々と強化され、その内容がブログで紹介されました。

というわけで今回は、実装済&実装予定の機能を、まとめてみました。

[【今後のカクヨム機能追加予定について】](#)

[【最新話を読み終わった後にその場で★を付けられるようにする等の改善】](#)

<実装済>

- ・最新話の末尾から★をつけることが可能に
- ・フォロー中のユーザーのおすすめレビューがマイページに表示される

★の仕様変更はナイス配慮ですね！

わざわざレビュー画面へ行くのが面倒だったので、この仕様変更は作者的にも読者的にも嬉しいです。

<今後の実装予定>

- ・トップページに新着おすすめレビューを掲載
- ・作品検索機能の強化（具体的な内容は不明）
- ・レビューの評価機能を導入

これはつまり、Amazon レビューのように、レビューを評価する機能が実装されるという意味でしょうか？

現状カクヨムのユーザーは書き手がメインのように感じますが、これを機にレビューワーさんがもっと増えたら、小説投稿サイトとしてさらに発展していけそうな感じですよ。

そんなわけで、今後カクヨムがどう成長するか、一利用者として見守っていきたいです。

こんにちは、らくだです。

本当に今さらですが、第22回電撃大賞の受賞作、『ただ、それだけでよかったんです』を読了しました。



<あらすじ>

ある中学校で一人の男子生徒が自殺した。

しかし彼はクラスの人気者で、逆にイジメの加害者は、クラス最底辺の地味な生徒。

どう見ても不自然すぎるこの自殺、その裏にあった意外な真相とは……？

というあらすじを見て、本格ミステリーのつもりで途中まで読み進めたのですが、実際は違いました。

これはミステリーと呼ぶより、ヒューマンドラマですね。

その方がしっくり感じるし、MWではなく電撃で出したのも、その辺が理由かと思います。

中学校の教室に存在する悪意、欺瞞、息苦しさ、青春や友情の裏にある醜い側面……。

この作品はそれらを徹底的に暴き出し、読者にも否応なく追体験させてくれる、熱いエネルギーを持った小説でした。

ただ贅沢を言うと、ラストは「え、これで終わり……？」という印象が。

ミステリーとしては投げっ放しな面もありますが、そこもヒューマンドラマだと思えば特に問題ないですし、とにかくみずみずしい感性に溢れている作品です。

完全に一作完結型の内容なので、このタイトルでのシリーズ化はないと思いますが、この作者様が今後どういふ作品を書いていくのか、次作も注目したいと思います。

こんにちは、らくだです。

第4回ネット小説大賞（なろうコン）の一次発表がありました。

以下リンクです。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://www.cg-con.com/novel/info/019.html>

応募総数 7,612 作品

一次通過 470 作品

通過率 約6%

通過率は一次段階で「6%」という、かなり厳しい戦いだったようです。

それにしても。

いつも思うのですが、なろうコンの全体講評は、ためになりますよね。

選ぶ側が「何を基準に通過・落選を決めているか」が、詳細かつ非常に具体的に書いてあるので、なろうコンの参加者以外でも参考になると思います。

長いので直接コピーは控えますが、チェックして損はない内容です。

自分も勉強になりましたし、まだの皆様は、ぜひ確認してみてください。

そして気になる二次発表は4月下旬。

通過作品数（予定）は50~100作程度ということです。

このリストから一体どの作品が選ばれるのか？

自分はなろうコン未参加勢ですが、読者として楽しみに待ちたいです。

タワプリ部門の結果 - 2016.03.25 Fri

こんにちは、らくだです。

昨日なろうコンの一次結果が出ましたが、コラボ開催の「タワーオブプリンセス部門」も、公式サイトで最終結果が発表されました。

以下リンクを貼っておきます。

【タワプリ部門・結果発表】

http://www.cg-con.com/novel/novel_tp/info/002.html

応募総数は 54 作品。

受賞作は該当作品なし。

というわけで。

応募数も少なめですし、何より「受賞作なし」というのは、寂しい結果です。

リンク先に載っている総評からも、この賞を盛り上げ切れなかったことに対する無念さが、ひしひしと伝わってくる感じでした。

やはり二次創作の賞になると、「書き手も読み手もその作品が大好き」という前提があるので、母数が少なくなってしまうのは必然という感じでしょうか……。

ただ「自分のシナリオがゲームで採用される」という、企画そのものはすごく魅力的だと感じますし、この流れが他のサイトにも広がって欲しいと思います。

個人的な希望としては、カクヨムで艦これとか……。

カドカワ繋がりでワンチャンあるって信じてる……。

とにかくそんなわけで、今回のブログは、タワプリ部門の話でした。

こんにちは、らくだです。

一週間遅れの話（汗）ですが、集英社ライトノベル新人賞の三次結果が、公式サイトで発表されました。

以下リンクを貼っておきます。

通過された方々はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx4thAward/result.html>

応募総数 780 作品

一次通過 181 作品（約 23 %）

二次通過 30 作品（約 4 %）

三次通過 11 作品（約 1 %）

四次発表は来月上旬。

どの作品が通過するのか楽しみです。

それから今週の木曜日には、二次落ち作品の評価シートが、発送完了したようです。

【評価シート発送完了のお知らせ】

http://sdbunko.blogspot.jp/2016/03/blog-post_24.html

そして次の締切ですが、年 2 回になったので、現在は第 5 回を募集中。

ちょうど 1 か月後の 4 月 25 日（月）が締切です。

自分は送れるかわかりませんが、SD は評価シートが好きなので、調整してみようかなと思います。

カクヨムに掲載中の『激烈ワナビ戦』ですが、コンテストの規定文字数である 100,000 字を、どうにかやっ
と突破することができました。

あとは順にアップするだけ。

当初の見込み通り 3 月 31 日に完結する予定です。

【激烈ワナビ戦】

<https://kakuyomu.jp/works/4852201425154962046>

近況ノートもちょっとだけ書いているので、小説本編のオマケとして、よろしければチェックしてみてください。
ださい。

このブログには載せていない、作品の裏情報などが載っています。

【近況ノート】

https://kakuyomu.jp/users/rakuda_tsuneki/news

ちなみに読者選考期間ですが、すでに告知された通り、4 月 7 日に延びたんですね。

おかげさまで、4 月第 1 週は完結した状態で載せておけるので、一気に読み予定の方がいらっしゃれば是非こ
の機会に！（いないと思いますが）

あと今まで自分の執筆で手一杯でしたが、投票期間が延びたおかげで読者としてもコンテストに参加でき
るので、そこがありがたいなあーと思っています。

というわけで。

開始当初は色々あって騒がれもしたカクヨムですが、せっかくここまで来たんですし、コンテストの行く
末を最後まで見守りたいと思います。

こんにちは、らくだです。

何度か話題にしているアイリス恋愛ファンタジー大賞ですが、このたび第3回の最終結果が公式サイトで発表されました。

以下リンクを貼っておきます。

受賞された皆様おめでとうございます。

【発表ページ】

http://www.ichijinsha.co.jp/special/iris/renaif_award/final/

今回は6作品が受賞&書籍化決定！

現在は第4回を募集中、第5回も開催が決定済！

というわけで盛り上がっている様子です。

なるうのコンテストは男性向けが主体で、アイリスのように女性向けに特化している賞はやや少ないように感じるので、今後も界隈を盛り上げて欲しいですね。

あと、講評にあった「他の大賞との二重応募作品は選考外となります」という一文。

当たり前の話なんですが、わざわざ講評に書いたってことは、そういうケースがかなり多いんだと思われます（汗）

複数の賞を狙いたい心情は理解できますが、そもそも規定違反になったら読んでもらえないので、書き手にとって一切メリットはありません。

規定を守るのは投稿者として大前提。

その上で「作品」で戦えるよう、日々精進したいところです。

こんにちは、らくだです。

ビーンズ大賞がウェブ投稿の受付開始！

第16回（2017年3月締切り）から、郵送もウェブもオーケーに！

というわけで以下リンク。

これは少女小説の投稿者にとって朗報ですね。

【応募要項】

<http://www.kadokawa.co.jp/beans/awards/>

以前の要項と細かい文章を見比べたところ、ウェブ受付だけでなく、募集内容も何気なく変更されています。

以前は「お前らファンタジー送ってこいよ」と匂わせる内容でしたが、「異世界ファンタジー、学園小説などジャンル問わず」に変更されていて、現代物でもいいことが募集要項の中できちんと明記されました。

特に最近では、MW文庫やオレンジ文庫に見られる通り、女性向けのお仕事小説が増加傾向にありますからね。

あくまで個人的な推測ですが、ビーンズも今後はそういう層を取り込みたいのかな、という感じがします。（数回前からキーイラストも現代になってますし……）

何はともあれ、ウェブ投稿が可能な賞が増えたのは、嬉しい出来事。

印刷や発送作業などの手間が省けて、投稿の労力が圧倒的にラクになる分、あまったパワーを作品に注ぎ込めるように頑張りたいところです。

こんにちは、らくだです。

以前から告知されていた、集英社 Web マガジン Cobalt の投稿新企画ですが、詳細が発表されました。

さっそく内容を見てきましたが……。

【募集要項】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/produce-kuwabara-apply/>

このページにお題となる「小説の冒頭（17行）」が載っています。

必ずこの文章を使用して、オリジナルの短編小説を書く、という企画のようです。
与えられた冒頭の内容から、どう想像力を広げるのか、書き手の腕の見せ所ですね。

- ・ 締切り 5月12日（木）
- ・ 規定枚数 400字詰原稿用紙、10枚程度
- ・ 応募方法 郵送のみ
- ・ 賞品 図書カード1万円分

冒頭で提示された設定を読んだだけでも、すごく壮大なストーリーにできそうなので、これを4,000字前後でまとめるのは逆に難しそうな気が……（汗）

まあでも、規定枚数が少ないからこそ、気軽な気持ちで参加できる賞なのかなーと。

4,000字なら作業の合間に書けますし、何かいい案が思い浮かんだら、自分も参加しようかなと思います。

あと、これ以外にも投稿企画がある（？）ようなので、引き続き最新情報をチェックしていきたいです。

こんにちは、らくだです。

ここを見ている知人に、「最近ブログがホーチミン（放置）だね！」という、遠回しな皮肉を言われました。

その言葉、応援だよね……？

らくだ図書館が大好きすぎて、更新が待ち切れなくて意味だよね……？

（無理やり前向きに考える）

さてさて。

そんなことを言っている間に、ついに年度末を迎えました。

MFJやビーンズなど、3月締切りの賞へ応募された方々は、投稿お疲れ様でした。

4月も締切りが多いので、参加予定の皆様は、頑張ってください。

ちなみに個人的な話ですが、自分は明日で、小説投稿8年目を迎えます。

別に「長いから偉い」とは思っていないし、逆に「長いから格好悪い」とも思いません。

ただ何と言ったらいいいのか、人生の4分の1近くを小説投稿と共に過ごしてきたんだと思うと、ひたすら感慨深い気分です。

そもそも小説を書くって行為は、結局のところ、自分と向き合う行為ですもんね。

時間が無限ではない人生において、そういう時間がたくさん持てたというのは、とても幸せなことだと思います。

そんな小さな幸せを胸に刻みつつ、これからも、焦らずに一步ずつ進みたい所存。

というわけで。

たまにホーチミンになりますが、ブログも頑張るので、これからもよろしくお願いします。